

こんにちは。大島中学校、奉仕委員長の重山 紗輝です。

2月末より、新型コロナウイルスが猛威を振るい、私たちも、学校が休校になったり、活動を制限されたり、いつもと違う生活に戸惑いながら生活を送ってきました。また、マスクを手放せない生活がずっと続き、私もマスクを購入するのにとても苦労しました。

そこで、「何かできることはないだろうか。」「マスクが不足していて困っている人がいたら、届けられないだろうか」と考えました。そこで、先生に相談し、この企画を考えました。

マスクをはじめで作る生徒も多く、あまり上手に作れませんでした。私たちは、使ってくれる人のことを思いながら、1枚1枚、心を込めて作りました。使っていただけると嬉しいです。

普段、私たちは、自分を優先に考えて行動してしまうことが多く、他の人のことを考えることが少ない生活を送っています。このマスク作りでは、

「誰かのためになれば。」

「使ってくれる人が元気が出ますように。」

という思いを込めて作ることができました。また、マスク作りに参加してくれた人の中には、「以前、こぶし園におじいちゃんがお世話になったので恩返しをしたい。」と思いながら作ってくれた人もいました。「重ねたところを縫うのが大変だったけど、とても楽しかった。」と言ってくれた人もいました。

今回の活動では、人を思いやる心を学べたと感じています。このような機会を与えてくださいましたこぶし園の皆様には、本当に感謝しています。ありがとうございました。

令和2年6月18日(木)

大島中学校 マスク寄贈